

CONTENTS

- P1-8 卒業特集
- P9 明桜高校特別進学コースで新課程導入
- P10 看護福祉大・看護学科国家試験対策講座
- P11 明桜高校・卒業制作展、
さくら幼稚園・豆まき
- P12 卒業生のみなさんへ、
平成20年度のお知らせ

特集 卒業

卒業、卒園によせて

小泉 健 理事長兼学長



ご卒業・ご卒園おめでとうございます。学園を代表して心よりのお祝いを申し上げます。そしてこの記念すべき日に至る月日を支えてこられたご家族の皆様にご敬意を表し、あわせてお祝いを述べさせていただきます。

今、皆さんの胸には、学園生活のさまざまな思い出が浮かんでいることでしょう。わずか数年の間ではありますが、世界も日本もそしてこの学園も大きく変化しました。皆さん

はノースアジア大学、明桜高校、ノースアジア大学のびのび幼稚園・保育園、同さくら幼稚園の1期卒業生として新たに活躍されることとなります。

大学を卒業する多くの人は勤労の対価として給与をもらい、生活していくこととなります。しかし、私は単に労働をお金を得る手段にしてほしくないと思っています。お金を得るために働くとするは仕事はつらくなります。今や世界的に利用されるパソコンの基本システム「windows」を開発したマイクロソフト社創業者のひとりであるビル・ゲイツ氏は、世界一の大富豪としても有名です。

開発の第一の動機は金儲けではありません。今まで複雑な数式を入力しなければ起動しなかったパソコンを誰にでも簡単に使えるようにしたいという思いがあったのです。彼は世の中を「便利にしたい」という気持ちを強く持って日々の開発にあたったのです。仕事の本当の意味での報酬は、仕事の成果そのものであって、お金ではないと私は考えています。

仕事そのものの中に喜びも悲しみも見出してほしいと思っています。人生は一回ですし、幸せに一生を送れるかどうかは、このように寝食を忘れるほどの、天職ともいえる仕事を見出せるかどうかにかかっていると思います。しかし、そのような仕事は夢のかなたにあるものではなく、現に今やっている仕事の中に見つけなければならないのです。仕事にたずさわる側が、そのような姿勢で取り組めるかどうかにかかっているのです。

私は学ぶことも同様だと考えます。周囲から勧められて勉強するのではなく、自ら意欲的に学ぶのであれば真の成果、学問の喜びは得られないと思います。授業で教わったことを「何故、先生はあのようなことを言ったのだろうか」というように反芻していただきたいと思っています。いろいろな問題や分からないことがあった場合に、誰かにすぐ聞くというのではなく、何故そうなるのだろうかとか立ち止まって考えてもらいたいと思っています。実は、何故ということは、教科書の中には書いてはいないのです。その文の後ろ側にある何故を発見する喜びが学問の喜びだと思います。立ち止まって考える勇氣と努力、それを忘れないでいただきたいのです。

就職、進学いずれにせよ、ものごとを表面的にではなく、本質を捉えるため、様々な角度から考える努力をしてください。そして成果を生むための経過に最善を尽くしてください。努力して成果を手にする事で、変化の大きい社会においても流されず、自己実現を果たすことができるでしょう。

学園での学びを終えて、これから皆さんはそれぞれの進学先・就職先で新しいスタートを切ります。そのスタートに際して「どのように生きるか」「何のために学ぶのか、働くのか」を考えながら一步一步、進んでほしいと思っています。

皆さんのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

個人的な思い出とキャリア形成



経済学部長
藤本 剛

最近、小中学校時代の思い出に耽ることが2件あった。小学校の器楽班で指導を受けた恩師から、当時の資料をまとめたアルバムと演奏を記録したCDが届いたこと、中学校時代の親友でしばらく疎遠になっていた友と連絡が取れて、交流が復活したことである。

後者の友人は高校が異なり、大学も彼が防衛大学校に進んでお互いまるで違う世界に生きることになったから、親友だった割には交流が途絶えていた。陸上自衛隊で活躍していることは風の便りに知ってはいた。だが交流が復活するなかで、彼が43名の犠牲者を出した雲仙普賢岳災害の時には大村について連隊長として救援指揮に当たり、小泉内閣時代の2年余りは首都圏防衛の要である東部方面総監の重責を果たしたこと、また退官後は某自動車会社の顧問や地域の防災計画の助言者として活動しているなど、改めて知らされたことは多い。

中学時代、彼は野球部（同学年のチームメイトには後の初代栃東、現玉ノ井親方もいた）の主砲で、私は器楽班（全国大会で二年連続優勝・準優勝の成果をあげた）の活動に明け暮れていたから、当時からおたがいにやっていることはずいぶん違っていたが妙にウマが合って、悩みを打ち明け合い将来を語り合ったものだ。

今年、ノースアジア大学初の卒業生として巣立つ諸君にも、小中学校時代のかけがえのない友人がいることと思う。進む道が異なっても、何年・何十年後に再会した時に、ひたむきに生きてきたこと（それぞれのキャリア形成）をお互い確かめ合えるといいと思う。さまざまなライフステージでキャリアデザインする力を学生時代から養うために、更にキャリア教育に力を入れていきたい。

4年間の思い出と、これからの目標



経済学部 4年
高橋 幸太郎

今思うと、4年間はあっという間だったと思います。1年生の時は授業も全てが初めてのことで、流れに乗り遅れないように毎日大学に来るようにしていました。

しかし、友達ができることと大学に来ていても授業を休んで遊びに出かけるなど、単位修得に悪い影響も出てしまいました。授業にアルバイト、そして遊びと今になって思えば全てをバランスよくこなしてきたとは言えず、後悔が残っています。

しかし、ずっとこのままではいけないと気持ちを切り替えて努力し、単位も無事に修得する事ができました。就職も活動を始めたのは4年生の夏からと时期的には遅かったのですが、キャリアセンター職員との協力と自分自身が努力した甲斐もあり、無事、内定をもらいました。

春から社会人としてスタートし、また全てが初めてのことでばかりになりますが、学生時代に努力したこの気持ちを忘れずに、一生懸命頑張っていきます。

【内定先：㈱誠文社】

7度目の正直で…合格



経済学部 4年
西村 佳祐

私は2007年11月の日商簿記検定試験2級に合格しました。(合格率20.7%)

これまで何度も日商簿記検定試験を受験し、いずれも残念な結果に終わっていました。

合格までに時間がかかってしまいましたが、「自分の目標が実現できたこと」に満足しています。途中で諦めてしまっていたら、「努力してもできないことがある」という逃げ道を自分の中に作ってしまい、後になって悔しい思いをすることになったでしょう。

ただ、こんなに頑張ったのは生まれて初めてで、自分もやればできると自分を信じていることができるようになりました。毎日少しずつ繰り返し勉強したことが、合格につながったと思います。

今回の合格は、指導していただいた先生の協力、応援なしには絶対に得られなかったと思います。これまでの指導に心から感謝します。

学生会活動を振り返って



学生会会長
経済学部 4年
和賀 正利

これまでの学生会活動では、大学祭や新入生研修会など多くの行事に携わることができました。また、学年が上がるごとに責任ある仕事を多く任されて乗り越えた、この経験は今後も生かされると思います。

しかし、こうした貴重な経験ができたのは自分だけの力ではなく、多くの仲間の支えがなければ得られるものではありませんでした。人から頼られることの喜びや仲間を信頼することの大切さを学ぶことができました。この仲間たちとの出会いが4年間で手にした最も大きなものです。本当に感謝しています。後輩達には学生会での仕事をこなすことはもちろんですが、今までの、そしてこれからの多くの出会いを大切にしたいと思います。いつの日か、きっと大きな財産になるはずですよ。

私自身もこれからの出会いを大切にするとともに、学生会で学んだ経験を生かして、社会人として更に成長できたらと思います。

ノースアジア大学一期生の皆様へ



法学部長

道端 忠孝

ご卒業おめでとうございます。あっという間の4年間、振り返ればいろいろなことが走馬灯のようによみがえることでしょう。中でも、大学名の変更は、一生涯、忘れることはないでしょう。みなさんは、ノースアジア大学一期生です。

ノースアジア大学は、今後も地元秋田、そして東北、さらにはアジアにおいて必要とされる人材の育成に取り組んでまいります。法学部は警察官、公務員、そして司法書士、さらにはジャーナリストなどの育成のほか、今年4月から観光学科を新設し、観光関連産業において活躍できる企業人（ホテルマン、ツアーコンダクター、旅行会社社員）などの育成に力を入れてまいります。

どうぞ、卒業後も本学のご支援をお願いいたしますとともに、近くのおいでの際には大学に足を運んでいただきたいと思います。

みなさんはこれから社会にでて、あるいはさらに進学していろいろとご活躍をされることと思います。当然ながら、みなさんが社会を支えていかなければなりません。ご健闘ください。

最後になりましたが、みなさんのご活躍とご多幸を衷心より祈念申し上げます。

警察官を目指して



法学部 4年

児玉 靖明

私は警察官を目指して、この大学を選びました。大学生生活では、数多くの授業を受講し、勉学に励むほか、体を鍛え、礼儀を学ぶために空手にも取り組みました。

目標とする警察官採用試験に向けての勉強は、大学3年生の10月頃から始め、大学での通常講義終了後に図書館で2、3時間程度勉強を行っていました。

昨年2月に警察官・公務員試験対策室へ入室した後は、毎日6時間以上勉強に取り組みました。もともと自主学習が苦手でしたが、対策室の近くに先生が常についてくれたので質問がしやすく、また仲間同士で聞きあうなど勉強に取り組みやすい環境があって勉強がはかどりました。また、そこでの生活指導や学内での奉仕活動、面接指導などの支援体制も大きな力となりました。

何よりも「警察官になりたい」という強い思いと対策室の先生方や周りの人達の支えがあり合格できました。これから警察学校での多くの勉強と厳しい訓練がありますが、強い意志と大学での経験を支えに頑張っていきたいと思っています。

これから試験に挑戦する方に伝えたいことは、皆さんの周りには多くのチャンスがあるということです。私にとっては対策室がそれでした。皆さんもチャンスや機会を自分のものにして最大限に生かしてほしいと思います。そうすることで自分の目標を達成できると思います。頑張ってください。

【内定先：秋田県警察】

大きな自信



法学部 4年

北島 昌未

私は在学中に『宅地建物取引主任者』『ビジネス実務法務検定2級・3級』を取得しました。しかし、私は勉強が大嫌いです。ですから、そんな私が資格取得のために勉強しよう！と意気込みましたが…さて、一体どうしたら良いものかと、いきなり壁にぶつかりました。

夜を徹しての勉強や図書館で勉強してみたり、問題集を何冊も買ってみたい。あれこれと試してみた結果、早寝早起きをする・何時間勉強したかではなく、どのくらい集中してできたかが大切・自分好みテキストを使用する・1冊の問題集をひたすら解く、という自分に合う方法を見つけ繰り返し取り組みました。

試験終了後、結果はどうであれ自分の力は十分に押し切った、これでダメでも後悔はないと思えるくらい必死になって頑張りました。勉強に疲れたときや、くじけそうになったときに励まして友達には本当に助けられ、今でも感謝しています。合格したときはとても嬉しかったです。自分もやればできると自信ができました。

これから資格を取得しよう思っている方や、取得にむけて頑張っている方、自分に合った学習方法で諦めることなく頑張ってください。その努力は決して無駄にはなりませんし、自分の大きな力になるはずですよ。

体育会活動を通して



体育会会長

法学部 4年

横澤 健一

私が体育会に入ったのは1年生の終わり頃でした。球技大会などに参加した際、とても先輩・後輩の仲が良く、楽しそうな活動だと思い、友人と共に入りました。体育会に入ってから先輩たちがよく面倒を見てくれて遊びに連れて行ってくれたり、夜遅くまで語り合ったりして過ごしました。

もちろん、体育会は各運動部・サークルの統括、大学と部・サークルの橋渡し役や学生球技大会の運営などが主な仕事です。球技大会では朝早くから夜遅くまで打合せを重ね、準備に取り組みました。参加する学生に楽しんでもらえるように企画を皆で考え、時には意見がぶつかり合うこともありました。しかし、その局面を調整し無事に球技大会が終わった時の達成感は今でも思い出に残っています。

この体育会活動を通じて各局・会にたくさんの友人ができましたし、講義以外にも先生方との交流が増えてとても充実した学生生活を送ることができました。大学生活は人と人との支えあいでも成り立っていると思います。大学にはいろいろな部活動・サークルがあり、交友関係を広げて自分を成長させるための絶好の場です。積極的に参加することをお勧めします。最後になりますが、私が体育会会長として無事に任期を終えることができたのは、教職員の皆さん、各局・会の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

第二の故郷、秋田での1年間



慶熙大学校 4年
(交換留学生)

柳

あっという間に帰国の日が来ました。まずは皆さんに、本当にありがとうございますと述べたいと思います。初めての外国での生活となる日本へは、不安だらけで来ました。しかし、空港まで迎えに来てくださった大学の方々と会って心配はすぐになくなり、心強くなりました。

愛情と親切心で接してくれた大学のみなさん、いろいろなことを教えてくださった先生たちいつも笑顔で迎えてくれた友達、秋田のどこへ行ってもあふれていた人々の温かい気持ちのおかげで、この1年は充実の日々でした。

あちこちで輝いている日本の文化や情熱で作上げられた竿燈まつりの感動、秋田の自然をそのまま生かした温泉、その自然を大切に考える環境事業、田植え体験の中で地元の農業を守るための努力など様々なことを知りました。また、北海道へのゼミナール旅行に行ったことも友達とのいい思い出になり、私にとっての宝物です。

秋田は私の第二の故郷になりました。もう一度言いたいです。どうもありがとうございました。韓国に帰国しても、どんなに時間が過ぎても、この秋田で、ノースアジア大学で過ごした大切な1年間は決して忘ることのできない思い出となりました。

10ヶ月の生活で学んだ大切な経験



慶熙大学校 4年
(交換留学生)

朴 香熙

今も、日本に来た初日のことをよく覚えています。飛行機の中から見える高い木々、果てしなく広がっている畑。迎えてくれた先生の笑顔に緊張と不安でいっぱいだった私の気持ちは和らぎ、日本の生活は順調に幕を開けました。

4月になり、1ヶ月間は泣く覚悟をして来ましたが、研修会をきっかけに今の友達に会えました。本当にいい友達となり、たどたどしい日本語で話す私ですが、心と心はお互いに通じるといえる程になったと思います。大学での生活に適應できるように配慮してくれた。

その友達ともっとも仲良くなるために、学園祭では韓国の食べ物を売ることにした。しかし、この学園祭が私の初試練になった。文化の差異がその原因だった。最良の結果を考える韓国人、悪い結果を考える日本人、売り切れを考えた私たちと売れない場合を考えて値段を想定する友達。結局は話し合いで解決しましたが、その時の経験は私にとって10ヶ月という短い時間の中で文化と友情について学ぶものとして、心に刻まれました。この貴重な経験を生かして今後大学生活などの難しい場面を乗り越えて行きます。

今まで、私を支えてくれたたくさんの方に心から感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございました。

4年間とは…



文化局局長
法学部 4年

進藤 誠

ついに大学生活の終わりを迎える。改めてこの4年間を振り返ると、“文化局と共に歩んだ4年間”という気がする。

文化局は“文化系サークルを統括する組織”と一言で表せば簡単だが、入局した当時はよく理解できなかった。少なくとも最初の1年間は先輩から与えられた仕事を何とかこなすことに必死で、文化局全体の役割を考えることは二の次だったと思う。

しかし、日々の仕事、大学行事への参加などで経験を積むにつれて、徐々に文化局の存在意義、先輩方が積み重ねてきた歴史の重みを肌で実感するようになった。自分は2年次に局長に就任し、全体をまとめ重い責任を負う立場になった。なかなか思い通りに事が運ばず、歯がゆい思いをし、悩むこともあった。その時、よく周りの仲間にも助けてもらったことを今でも思い出す。

多くの思い出が残り、良くも悪くも文化局と出合わなければ今の自分は無かったのかもしれない。私にとって文化局とは学生生活の象徴である。

応援という力



短大部長

佐藤 実

卒業おめでとう。秋田栄養短大での2年間、楽しい事、厳しい事、辛い事、たくさんあったことと思います。春からの日々、スタートラインに立つ君たちの向こうがいつも明るく平坦な道であることを願って止みません。しかし、現実に進む道では思いがけないいろいろな困難なことに出くわすことでしょう。懸命に工夫して克服したり、逆に迷ったりするかもしれません。新しい世界の道で走り過ぎて疲れはてるかもしれません。そんな時に思い出して欲しい“君たちを応援している人たちがいる”ということ。家族であったり、友人であったり、小中高の恩師であったり、短大の教職員であったり。応援団は、社会人として自立の一步を踏み出す君たちに特別なエールを贈ることはしないにしても、静かにいつでも見守って応援しています。君たちが迷ったり、疲れたときに無理をせず一息入れて相談してください。応援団の声援や助言が困難な道を切り開くヒントや勇気を生む力になるかもしれません。そして、将来、君たちが誰かの応援団の一員として、周りを支えながら成長していくことを願い、期待しています。

私の秋田栄養短期大学での学生生活について



栄養学科委員長
栄養学科2年

熊谷 晃太

一年次を振り返ると、学業とアルバイトの両立と、自動車の運転免許取得を目標に努力していたと思う。アルバイトを始めた頃は仕事に不慣れなこともあり、毎日のように注意を受けて不満に感じることもありましたが、それ以上に仕事の中で学ぶべきことがたくさんあった。また、自分がアルバイトで得た費用で運転免許を取得したことは、とても達成感があった。

二年次には勉強と就職活動に追われながらも、一年次から親しくなった友人達と充実した日々を過ごすことができた。就職活動ではなかなか内定がもらえず、苦い経験もしましたが、私が目指す栄養士という職業を見直す良い機会だったと思う。

学生生活で感じたことは一人ひとり違うと思うが、私は、学生生活での経験を通じてこれからの目標を定め、社会に出るための準備期間だったと思う。今は、栄養士としても一人の人間としても未熟ではあるが、人の役に立つため、また、目標の達成のためにも、栄養士としての知識と技術を学び続ける努力をしていきたいと思う。

就職活動を終えて



栄養学科2年

川崎 美和

私が就職活動を終えて感じたことは、自分と向き合うことの大切さです。初めに私は、周りの友人が活発に就職活動をしているのを見て、焦りと不安から就職セミナーなどに参加するものの自分の目標や考えがはっきりしておらず、準備が不足していたため良い結果を得られませんでした。

その経験を踏まえて企業に自分をアピールするにあたり自分はどのような栄養士になりたいのか、どんな仕事をしたいのか、もう一度よく自分を見つめ直す時間を作り、何度も面接練習を繰り返して十分に準備をして就職試験に挑みました。練習では緊張から思うように話せないこともありましたが、不思議と本番ではしっかりと準備をしてきたという自信から緊張は解け、自分が目標とすることを企業に上手く伝えることができ、内定を頂くことができました。

これから就職活動に臨む皆さんも、まずは自分とよく向き合って目標に向かって諦めずに努力してください。

【内定先：日清医療食品(株)仙台支店】

学生生活を振り返って



栄養学科2年

斉藤 友香子

2年間の学生生活は非常に短く、私にとっては忙しい日々の連続でした。今となっては良い思い出ですが、当時は勉学や部活、アルバイト、委員会活動等に常に追われていた気がします。

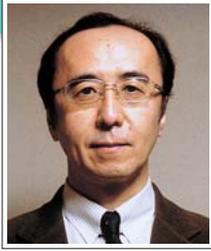
私は1年生の終わりごろ、他大学への編入を決意しました。系統が異なる学部への挑戦ということで化学・小論文の対策には苦労しました。モチベーションを保つのも難しく、つらい状態でしたが、周囲の支えがあり、くじけることなく頑張れました。合格した時は安堵の気持ちでいっぱいでした。

学生生活では勉学以外にも多くの経験を積むため、県内の大学で連合チームで活動しているアメリカン・フットボール部にマネージャーとして所属しました。

この2年間で得たもの、様々な人との出会いは一生の財産です。これからも感謝の気持ちを忘れず、新たなステージへと進んでいきたいと思っています。

【進学先：中部大学 応用生物学部 応用生物学科】

まずは健康第一で！



教養部長
福山 裕

大きな志を抱いて4月に入学。1年後の3月にその年を振り返り、さほど大きな収穫がなかったことに少々落胆しながらも、また4月に今年こそはと新規の蒔直しを図る。その繰り返して、あっという間に卒業。30年前の私自身もそうだったかもしれません。いまだに同じことの繰り返し。年度の終わりになると決まって、この一年の間に私はいったい何をしてきたのだろうと反省するのです。

よ～しすべて順調に進んでいるぞと満足して少し調子に乗っていると、いつの間にか不調に陥ってしまう。突然、嵐の真っ只中に置き去りにされてしまったような気分になったり、真っ暗な深い穴の中に突き落とされてしまったような気分になったり…。

でも、真っ暗な夜がやって来たとしても、また確実に陽は昇る。凍えるような冬が来たとしても、また確実に春はやって来る。冬来たりなば春遠からじ、そんなふうを考えようと思っています。できるだけプラス志向で行こうと思います。

大切なのはいつも心身ともに健康であること。みなさんもまずは健康第一です。そう、卒業生のみなさんには、この言葉を贈ることにします。「まずは健康第一で！」

Forza! NAUの卒業生



学生部長
海老川 寿美夫

「活力は自助と創意からしか生まれぬ」という、たったこれだが深遠な奥義の解明を求めてこの1年ひた走ってきたのです。

未来の重しは確かに重い。だがそれに打ち拉がれてはならない、というアフォリズムであって未来に起こることは変えることができる。そのためには現在行動しなければならぬと思い詰め「虚仮」の一心を自分印・馬印に修行を積んできたところが正直な我が感懐である。人生は修行です学生諸君！そして良きお屋形様の薫陶を受けること。

さて、学生諸君（実に響きがいい）、いやNAUの祭に参加していただいた理事長、教職員、各団体、地域の人達に遅まきながら「感謝」を申し上げるところです。ありがとうございました（同盟・協働の成果です）。

己の歴史というトレッドミルの上では現状維持というのは実は後退に他ならないという信条から、その精神は（ここ1年）実に解放された伸びやかな時期でした。これがどこからリリースされて、何の目的のために我が心に寄贈されて行ったのかは不明であるが、

さて、次の命題は長生きすることで「理想は近づくのか、遠のくのか」の則が当面の修行の目標ではある。しかし今日は孜孜として、驥尾に付すことから始めることにする。

ご卒業おめでとうございます



警察官・公務員試験対策室長
齋田 統

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

警察官・公務員試験対策室が平成19年1月に開設されてから1年あまりが経ちました。本学は、警察官・公務員試験対策室が開設される以前より、多くの公務員合格者を輩出して参りましたが、警察官・公務員試験対策室が開設され、これまで以上に高い合格率で公務員合格者を出すことができましたのは、合格した学生自身の努力はもちろんのこと、ご協力くださったみなさまのお蔭と心から感謝しております。

近年、公務員の不祥事の報道を耳にすることが多く、質の高い公務員の確保が社会的に重要な問題となっております。警察官・公務員試験対策室は1人でも多くの公務員試験合格者を輩出することがその使命ですが、質の高い公務員の確保という社会の要請にも少しでも貢献できるよう、単なる公務員合格者ではなく、質の高い公務員合格者を今後も本学から輩出していきたいと考えております。

公務員に限らず本学卒業の諸先輩がすでに社会のさまざまな分野でご活躍です。これから社会へ巣立つ卒業生のみなさんの進む道は決して平坦な道のりではないものと思いますが、本学で得た知識や経験を活かし、各方面でご活躍の諸先輩に続き、ご活躍されることを期待しております。

卒業式を迎えて



明桜高校長
嶋田 耕也

昨年8月、私の母が享年90歳で亡くなった。父はすでに15年前に亡くなっているので、今年から親のいない人生が始まる。両親の手許にあった家族の写真の中から私のものを分けてもらおうと東京の兄の家を訪れた。たくさんの写真を分類するのは大変だろうな一と
思っていたが、兄嫁が、整理された私に関係するもの一式を紙袋に入れて運んできた。どうやらかなり前に私達兄弟3人のものがそれぞれに分けられていたようである。涙は流さなかつたが、父母のほんの些細な行為に胸を打たれた。紙袋には、誕生してから高校時代に至る、すべて白黒で、ほとんどがセピア色になった写真と一緒に、小学校1年生のときの国語や算数のノート、絵日記、たくさんの絵、そして小学校から高校が終るまでの通信簿が保管されていた。食い入るように色々なものを眺め、遠い過去を懐かしみながらも、私はゆっくりと一つの結論に達していた。結局私の性格的・精神的基盤は、短所も長所も含め、この期間に形成されていたのだなと。通信簿に書かれている担任教師の各学期の短い所感がそれを雄弁に物語っている。高学年になるほど所感は厳しく、辛辣になってくるが、高校3年目にいたっては、現在の私を評価しているような気がした。

卒業は終了を意味すると同時に、高次元での出発点にほかならない。

大学入試を終えて



3年
武田 梨沙

ノースアジア大学の特別進学コースを対象にした奨学生試験の話聞いたのは、9月のことでした。県内の大学に絞って受験を考えていた私ですが、一般入試を視野に入れた教科学習をしていたので、受験形式の違いに戸惑い悩みました。しかし、英語を使った仕事がしたいという将来の夢への第一歩が観光学科であると確信し、挑戦することに決めました。決断から受験の日まで時間に余裕がなく、すぐに受験シートの作成や面接練習に取り組みましたが、試験当日は何をどのように話したのか、覚えていないほど緊張してしまいました。幸運にも無事合格でき、とても嬉しく、この気持ちを忘れずに大学入学後も努力しようと決意しました。

国際化社会の今、英語は必須条件だと思います。大学では資格取得や英会話に励みたいと思っています。また、講義や実習を通じて知識や教養、豊かな人間性を身につけたいと思います。

最後に、親身になってご指導下さった先生方、励ましてくれた仲間、そして受験に関心
悩んでいた時、背中を押してくれた母に感謝しています。ありがとうございました。

【進学先：ノースアジア大学法学部観光学科】

成長できた就職活動



3年
長谷川 雄亮

私が警察官になりたいと思ったのは、3年生に進級してからです。進路を真剣に考えるにあたって、「今まで自分が学んできたことを活かすにはどのような職業が良いか」、「どうやって社会に貢献するか」、この二つを中心に考えました。私は小学生の頃から続けてきた野球を通して、体力を養うと同時に、精神面の強さと人として大切な様々な事を学びました。これからは培ったことを生かし、自分の生まれ育った秋田で人々の役に立ちたいという思いから警察官になることを決意しました。公務員ということで、厳しい競争を覚悟し、絶対に合格を勝ち取るという思いを強く持ち、試験勉強に励みました。採用試験は9月に始まり、一次、二次試験の段階を経て、合格発表まで2カ月というとても長い期間でした。私はこの2カ月で大きく成長できたと思います。

私は自分一人の力では合格は得られなかったと思います。家族や先生方への感謝の気持ちを忘れず、春から頑張っていきます。

【内定先：秋田県警察】

国体優勝



3年
佐藤 樹

秋田国体への出場が決まったのは、昨年7月の県民体育大会でした。中学校の頃からフェンシングのジュニアチームと一緒に練習してきた二人と、フェンシングを始めたころからの指導者が監督という恵まれた状況とメンバーで国体への出場が決まりました。

このチームで、国体までの3ヶ月間厳しい合宿や遠征、練習試合などを何度も繰り返して、チーム全体で様々な場面を乗り越えてきました。その度に、技術はもちろんチームの雰囲気、そして何よりもチームワークが更
良くなりました。

そして、迎えた地元開催での国体。緊張と興奮が入り混じりながらも試合は始まりました。一人が負ければ二人が勝ち取るというチームワークを発揮しながら、順調に勝ち進み決勝に残ることができました。「ここまで来たら、勝つしかない。」と全員で意気込み、チーム一丸となって試合に臨むことができ、優勝することができました。優勝の瞬間、会場が歓声で包まれました。この瞬間は、一生記憶に残るものになりました。

秋田わか杉国体では、地元の声援や他の方々の協力があったからこそその優勝でした。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、このチームで優勝できたことを誇りにしたいと思います。

さくら咲き、のびのび育つ



認定こども園
ノースアジア大学附属
のびのび幼稚園・保育園
ノースアジア大学附属
さくら幼稚園
園長
櫻田 紀元

明るく元気にのびのびと遊ぶ三園の子どもたち。そして植樹して1年になる「もみの木」と「小楢の木」が根を張り、若枝を伸ばし成長しているさまは、子どもたちに希望とたくましく生きる力を注ぎ励ます祥雲の兆しと映ります。

認定こども園ののびのび幼稚園・保育園では、0歳児から5歳児の一貫した保育・教育のもと、子どもたちが遊びの中でお互いに刺激し合い、いたわりあいながら育っていく成長発達の姿が満ちあふれています。自園でまかなう給食は、食育教育にも寄与しながら子どもたちはもちろんのこと保護者にも喜ばれています。幼稚園・保育園の教職員もつながりのある教育・保育の実現に向けて共通理解・意識の共有に努めています。

さくら幼稚園の自然豊かな園環境は、子どもたちがたくましく育つための滋養になっているのがうれしい。保護者や地域からアットホームな園と慕われていることも教職員にとって意欲と情熱の糧となり、教育に専心しています。

三園が子どもたちの成長発達に適切な保育・教育環境の構築と保護者や地域に慕われ、いつもさくら咲き、のびのびと遊びの楽しさを提供できる園でありたいと努めています。こうした保育・教育環境の改善充実は、卒園児たちにも園生活を通じた成長の証と将来への道しるべになると確信しています。

附属のびのび幼稚園・保育園

園の思い出



みんなで行進、息がぴったりだね



歌にお遊戯、上手にできました



「どんどん掘るぞ」「お手伝いさせてー」



町の安全のために毎日ありがとう



大きな茶わんで、まっ茶をごくん



寒くても平気。大きな雪だるま作ったよ



力を合わせて、ぺったんぺったん

附属さくら幼稚園

園の思い出



田んぼの中に初めて入ったよ、楽しいね。



マーチング姿きまってるでしょ。



園長先生と一緒にじゃがいもの皮をむいたよ。おいしいカレーライスになあれ。



春に植えた稲がこ～んなに実りました！



どっこいしょ～
おいしいおもちになあれ～

平成20年4月

明桜高校特進コースに新課程導入

難関大学合格へ指導強化

明桜高校は、この4月から特別進学コースを中心に学力向上に向けた教育課程を導入することになりました。

同コースでは、生徒の学力到達目標を難関大学および医歯薬を中心とする難関学部で現役で合格できるレベルに設定して指導します。平成20年4月入学生から新教育課程を適用し、在校生は従来の課程を継続します。

変更点としては、▷週6日制（授業日は月曜日から土曜日まで）を実施。▷8時間授業の実施や長期休業日（夏休みなど）の短縮により、授業時間を増加。▷国立対応型（6教科7科目）の教育課程とし、2年次までにすべての受験科目の履修を終える一などがあります。

また、特進コースの強化に伴いアドバンス（進学を希望する生徒のためのエリア）の教育課程についても、国公立

大学・難関私立大学を目指す内容に変更します。

新しいアドバンスエリアのカリキュラムは、従来の特進コースと同様に、習熟度にあわせた補習や講座を設定できる柔軟なものです。

この新課程導入について、嶋田耕也校長は「授業数が増えて、相当厳しいカリキュラムになる。授業の進度についていけないなどの課題が出てくることも考えられるが、生徒の力に適正なコースの選択、変更などきめ細かく対応したい。柔軟な制度の導入ができるのは本校が私立だからこそだと思う。秋田全体の教育を考えるきっかけとし、特に高校生の学力向上に良い影響を与えられればと思っている」と話しました。

韓国・留学生から見た秋田

留学生インタビュー

本学で交換留学生として約1年を過ごした韓国・慶熙大学校日本語学科4年の柳一（ユウ イル）さんと同学科4年の朴香熙（パク ヒャンヒ）さんに秋田に対する考えを聞きました。

柳さんは、秋田の魅力を「秋田は広く、そして空も広い。人の心も広くすべてに余裕がある。東京や仙台などを観光した際、遊び場が多く楽しめたが、私は秋田に強い魅力を感じた」と振り返りました。この冬には水深日本一とたつこ姫伝説で有名な田沢湖に行き、近隣の温泉郷で初めての露天風呂を体験。そこから望む雪景色に感動し、郷土料理を楽しんだことが大きな思い出となったそうです。

夏には東北四大祭に数えられる竿燈まつりを観覧し、朴さんが家族にその様子を伝えると「さすが日本の祭は大きくて凄い」と驚かれ、次に留学する後輩には祭への参加を勧めたいと話していました。韓国ではこのように大人から子供まで一丸となって祭りを作り上げることはなく、すばらしいことだと語りました。

その一方で冬は寒さのあまり人々の交流が少なくなり、交通の便も悪く雪に閉ざされがちになってしまうとも指摘しました。「雪が降ることをマイナスに考えるのではなく、プラスに考えてほしい。韓国では人工雪を使用したスキー場しかないため、自然雪でのスキーは新鮮。スキーや温泉が好きな韓国、世界の人に秋田を知って楽しんでもらいたい」と柳さん。朴さんも「例えば仙台などで買い物をした

後、秋田を訪れて温泉に入り、郷土料理を味わい、スキーなどを楽しんでもらうような魅力的なツアーがあったらいい」と提案してくれました。

二人の今後の目標は、日本語能力検定試験1級を取得すること。自国で日本語を生かした仕事をしたいという目標があります。この二人のように私たちも将来に向けて明確な目標を定めて、努力を重ねていけば、更に充実した大学生活を送れると思います。

また、取材を通して二人の秋田に対する愛情や思い入れを強く感じました。何気ない周囲の人の優しさが印象に残っていると話してくれたことから、私たちが気づくことのない秋田人の持つ心の広さや暖かさ、何気なくしていることの大切さを気づかされ、秋田の良さを改めて知ることができました。これからも同大からの交換留学生との交流を通して日韓交流を深めるとともに秋田の国際化、活性化に役立てていきたいと思っています。

報道部 伊藤香織・門脇基宏（法3年）、三浦晃（法1年）



右…柳さん
左…朴さん

国家試験対策の強い動機づけに

看護学科生が勉強合宿

秋田看護福祉大学看護学科では、入学時から各種国家試験の対策指導に力をいれています。3年生に対しては、今年度すでに4回の模擬試験、講習や学習会等を実施しました。

2月20日には、保健師国家試験の初の模擬試験を行



看護福祉大

いました。学生たちは、これまでに受けた看護師国家試験の模擬試験とは別の難しさを感じたようです。さらに保健師の専門科目の復習や不得意分野の強化の必要性も実感していました。

また、春期休業中の2月25日から26日の2日間にわたり、国家試験対策のための合宿も実施されました。この合宿は、4年生になり本格的に受験対策を始めるために、学習課題を自ら見つけ、モチベーションを高めることをねらいとしています。これまで講義や実習が続いて、課題や記録の提出に追われていた学生も、この合宿を機に国家試験のための学習に真剣に取り組む傾向が見られます。

看護学科の学生にとって、国家試験の合格は、卒業後に看護師や保健師・助産師として働くためには必須です。そのため、これらの国家試験対策には、学生たちも委員として積極的に企画や運営に加わり、熱心に取り組んでいます。

韓国・教職員一行が訪問

特別進学コースに強い関心

1月27日・28日の両日、明桜高校は韓国の初等中等教育教職員一行32人の訪問を受けました。この訪問は財ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）による国際教育交流事業の一環で、“韓国教職員招へいプログラム”として両国の相互理解と友好の促進のために実施するものです。

28日、高校では歓迎集会が行なわれ、嶋田耕也校長が「研修旅行などでアジア諸国と交流を進めてきました。今回の交流を機に、より一層深めていきたい」と歓迎のあいさつをしました。韓国側からは韓国ユネスコ国内委員会事務総長・李三悦（イ サミョル）氏が「韓国ではこれまで欧米への関心が高かったが、今後は日本・中国など近隣の国との交流に力を入れていきたいと考えます。明桜高校と韓国の高校が姉妹提携を結ぶなどして交流の活発化が図られると嬉しい」と述べました。

その集会では、吹奏楽部による歓迎の演奏も行なわれ、クラシックやポップスなど4曲を披露して一行を楽しませました。

続いて一行は4グループに分かれて英語や数学、情報などの授業を参観しました。教科書やノートの取り



方について生徒に聞くなど熱心に視察しました。参観を終えた教員からは「韓国も受験戦争が熾烈であるが、進学に特化したコースをおくシステムはあまり見られない。特別進学コースは特徴的だと思う。情報の授業に使われているコンピュータ室も充実していて、生徒も楽しく熱心に学んでいる印象を受けた」「英語などに非常にレベルの高い授業がみられた。また、スポーツ、文化と多くの部活動が活発に行われていて、生徒が生き生きとしているようだ」などの感想がありました。

その後、一行はノースアジア大学を訪れ小泉健理事長兼学長を表敬訪問し、また学生食堂での昼食も体験しました。

学習の成果、力作並ぶ

ビジュアルアーツ卒業制作展

2月1日から3日までの3日間、秋田駅東口アルヴェきらめき広場において、明桜高校エリア選択コース（ビジュアルアーツ 美術系）1期生20名の作品を展示した卒業制作展を開催しました。

この制作展は、日頃の授業の中で制作した共通課題「秋田のPR」、自由課題各1点のデザインのほか、CG（コンピュータ・グラフィクス）ソフトウェアを使って制作した作品などが見られました。作品は、ポップなものから重厚なものまで幅広くあり、生徒の個性が十分に発揮されたものとなりました。

3日間を通じて一般の方や本校生徒、OBなどのべ212名が来場しました。

来場者の中にはデザイン関係者もいたことから、今後の授業や作品を制作する上で、参考となるアドバイスを受けることができました。

卒業制作展の開催に際して、これまで指導してきた

齋藤かおり先生、藤村紗織先生（美術担当）は「エリア選択コースで学んだ2年間の集大成として作品を発表できたことは、生徒にとって大変貴重な体験になったと思います。授業時間だけでなく放課後も残って制作し本当によく頑張ったと思います」と感想を述べました。



「鬼は外!!」元気に豆で鬼退治!

さくら幼稚園で豆まき

さくら幼稚園で2月1日、豆まきが行われました。

ゆうぎ室に園児たちが集まって、櫻田紀元園長から豆まきの由来や鬼を寄せつけないための飾りつけなどの話を聞きました。その中で櫻田園長は「鬼が来たら力を合わせてみんなで追い出しましょう。それと一緒におこりんぼや意地悪な悪い鬼がみんなの心の中に入ったら、退治しましょう」と呼びかけました。



そこに太鼓の音とともに怖い赤鬼・青鬼が登場しました。大きな声を上げながら鬼たちが近づくと園児たちは逃げ回ったり物陰に隠れたり。年少児の中には先生にしがみついて泣く子もいましたが、年長児は勇敢に鬼を退治しようと豆をぶつけていました。

しばらくすると鬼は「悪いことはしない」「静かにお話を聞く」などの約束を子どもたちと交わし、帰って行きました。園児たちは一安心した様子でそれぞれの保育室に戻り、この1年の健康を祈って豆を年の数だけ食べました。



ノースアジア大学・秋田栄養短期大学 卒業生のみなさんへ

1. 各種証明書発行の諸手続きについて

成績証明書、単位修得証明書、卒業証明書等は卒業後も必要となる場合があります。その場合、以下の方法で申請してください。
なお、個人情報保護のため、電話での申請は受け付けできません。

窓 口 で 領	申 請	以下の書類を添えて申請してください。 ・証明書申込票（手数料分の本学証紙を貼付） ・運転免許証等身分を証明できる書類 ※本人以外が申請する場合は委任状が必要です。
	受 領	受付から20分程度で発行可能です。 窓口でお受け取りください。 後日の郵送も可能です。

郵 送 で 領	申 請	以下の書類を添えて郵送してください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード） ・運転免許証等身分を証明できる書類のコピー
	受 領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に指定の口座に振り込んでください。

電 子 メ ー ル で 領	申 請	以下の書類を揃えて添付。件名は「証明書申請」としてください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード） ・運転免許証等身分を証明できる書類 （デジカメ等で撮影したもの。氏名、生年月日、住所等が確認できること）
	受 領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に指定の口座に振り込んでください。

F A X で 領	申 請	以下の書類を揃えてFAXしてください。 ・証明書申込用紙（本学ホームページでダウンロード） ・運転免許証等身分を証明できる書類のコピー
	受 領	受付の翌窓口取扱日に郵送いたします。なお、料金については、請求書を同封いたしますので、到着後1週間以内に指定の口座に振り込んでください。

ノースアジア大学

◆窓口取扱い時間
〔平常講義時〕月曜日～土曜日 8:30～20:00
〔平常講義外〕月曜日～金曜日 8:30～17:00
*日・祝日・夏期/年末年始休業期間中を除く。
*窓口にお越しの際は事前にお問合せください。

◆問合せ先
〒010-8515 秋田県秋田市下北手桜字守沢46-1
大学事務部教務課（大学係）
Tel:018-836-1335 Fax:018-836-2485
Email: kyomu@nau.ac.jp

秋田栄養短期大学

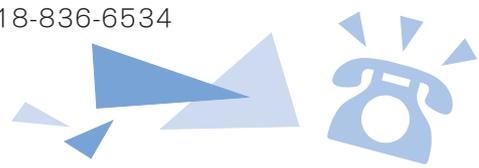
◆窓口取扱い時間
月曜日～金曜日 8:30～17:00
*土・日・祝日・夏期/年末年始休業期間中を除く

◆問合せ先
〒010-8515 秋田県秋田市下北手桜字守沢46-1
大学事務部教務課（短大係）
Tel:018-836-1357 Fax:018-836-3374
Email: gakuajrc@nau.ac.jp

2. 校友会に入会した皆さまへ

- ◆主要事業 ◎会員情報の管理 ◎会報の発行
◎母校支援 ◎会員の慶弔
◎総会の開催

◆校友会活動についてのお問い合わせは
校友会事務局（ノースアジア大学校友会館内）
〒010-0058 秋田市下北手桜字守沢21-9
Tel:018-836-6534



平成20年度開催予定行事のお知らせ

ノースアジア大学・秋田栄養短期大学

- 短大2年生ガイダンス
4月1日(火) 9:30～
- 大学2～4年生成績発表・ガイダンス
4月4日(金) 4年 10:30～
3年 13:30～
2年 14:30～
- 入学式
4月6日(日) 10:00～
古田記念講堂
- 新入生ガイダンス
4月7日(月)
- 新入生研修会
4月8日(火)～9日(水)

【学生支援課からのお知らせ】

定期健康診断を受けましょう
4月8日(火)～11日(金)
●学部・学年・男女別で受診日時が異なりますので、詳細を必ず掲示板で確認してください。

秋田看護福祉大学

- 入学式
4月2日(水) 11:00～ 大学大教場
- 新入生研修会
4月3日(木)～4日(金)
- 2～4年生ガイダンス
4月4日(金)
- 社会福祉学科 2年 9:00～
3年 10:00～
4年 11:00～
- 看護学科 2年 13:00～
3年 14:00～
4年 15:00～
- 前期講義開始
4月7日(月)

明桜高等学校

- 新入生オリエンテーション
3月29日(土) 古田記念講堂
- 始業式
4月4日(金)
- 入学式
4月7日(月) 10:30～
高校第一体育館

のびのび幼稚園・保育園 さくら幼稚園

- のびのび幼稚園・保育園入園式
4月10日(木) 10:00～
- さくら幼稚園入園式
4月11日(金) 10:00～

